

機関紙アンケートについて

長岡技術科学大学

小松 高行

Questionnaire on the bulletin NEW GLASS

Takayuki Komatsu

Department of Chemistry, Nagaoka University of Technology

1986年に第1号のニューガラスフォーラムの機関紙「NEW GLASS」が発行されて以来、多くの方々の努力と協力を得ながらガラスに関する最新情報を会員の方々に提供してきた。国内外の新製品・新技術の紹介（研究最先端や特集記事など）、関連産業の動向や技術解説、開発秘話、ニューガラス講座、国内外の学会報告などニューガラスに関する多岐にわたる情報を休みなく提供し続けてきたことは、ニューガラスフォーラムのガラス産業の発展に対する並々ならぬ熱意と期待への表れである。2000年ミレニアム迎え、機関紙「NEW GLASS」はどうあるべきであろうか、会員の方々は一体何を「NEW GLASS」に求めているのだろうか。情報が瞬時のうちに世界中を駆け巡る時代であってその答えを容易に見出すのは難しい。「青はこれを藍より取りてしかも藍より青し」は有名な中国古典「荀子」の名句である。不断的努力によって、弟子が師を超え、子が親を超え、古い自分が新しい自分になれることができることを言っている。ガラスに生き、ガラスが好きな会員の方々の不断的努力に対して少しでも役にたち、少しでも刺激を与えることが機関紙

「NEW GLASS」の使命ではあるまいか。会員の中から未来を起こす人が現れることを信じたい。

ニューガラスフォーラムの中にインターネット活用委員会があり、ホームページの作成、「NEW GLASS」掲載記事のPDF化、モニター制度による「NEW GLASS」の読者アンケートの実施などの活動を行っている。機関紙編集委員会もインターネット活用委員会と連絡を取りながら、時代に対応した機関紙のあり方を目指している。読者アンケートの個々のデータについては今回は割愛させて頂くが、各記事について本音が語られており、編集委員会として大いに参考にしている。現在はモニター制度（会社の方と学生の25名程度）を採用しているが、回収率が低く、検討の余地がありそうである。編集委員会としてはできるだけ会員の声を記事内容等に反映させていきたいと考えており、特に読者が興味を持つ記事の傾向などは積極的に取り入れていく必要がある。読者の中から忌憚のない意見をお願いしたい（意見等のある方はニューガラスフォーラム宛に文書でお願いします）。会員の方々と共に、機関紙「NEW GLASS」を盛り上げていきたい。

(編集委員長)

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1

TEL 0258-47-9313

FAX 0258-47-9300

E-mail: komatsu@chem.nagaokaut.ac.jp